

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

改善点は、当該科目について回答された項目のうち、上位5項目について掲載した。

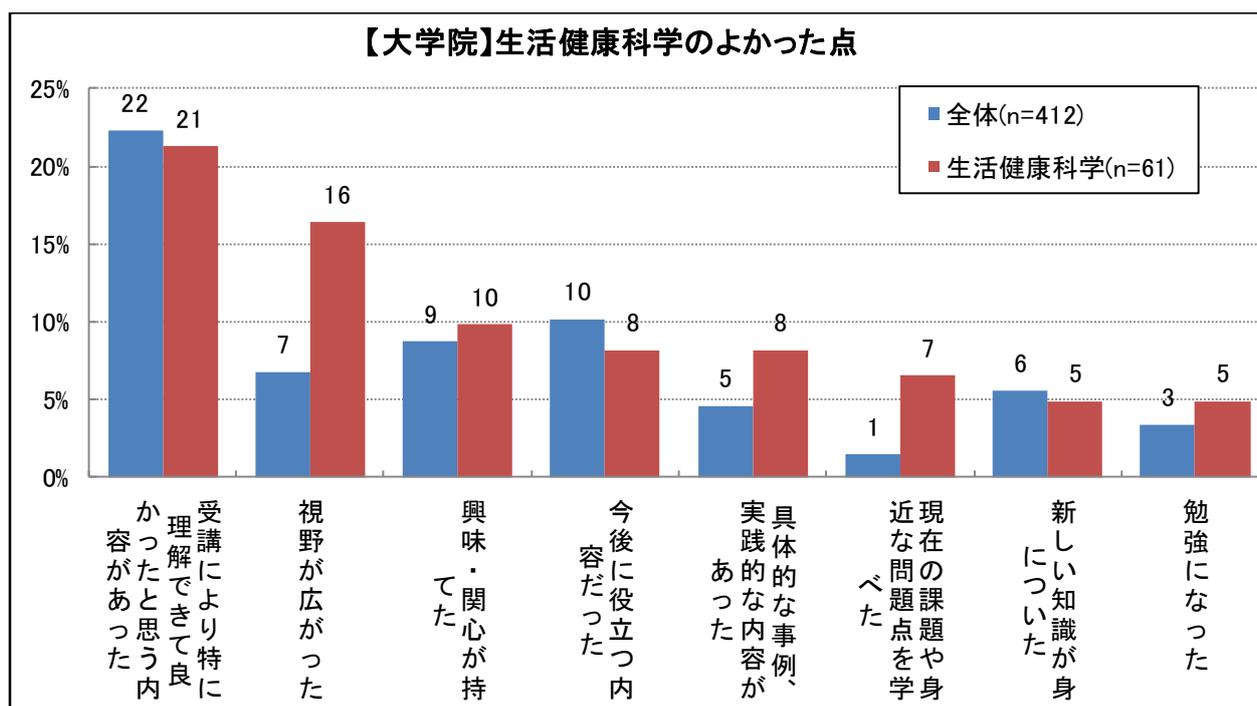
【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」は21%と最も高く、次いで「視野が広がった」が16%で続き、「視野が広がった」は全体との差が大きく、生活健康科学の特徴的な項目となっている。

他に「興味関心が持てた」「今後に役立つ内容だった」が10%以下で続いた。

図4-1 【大学院】よかった点



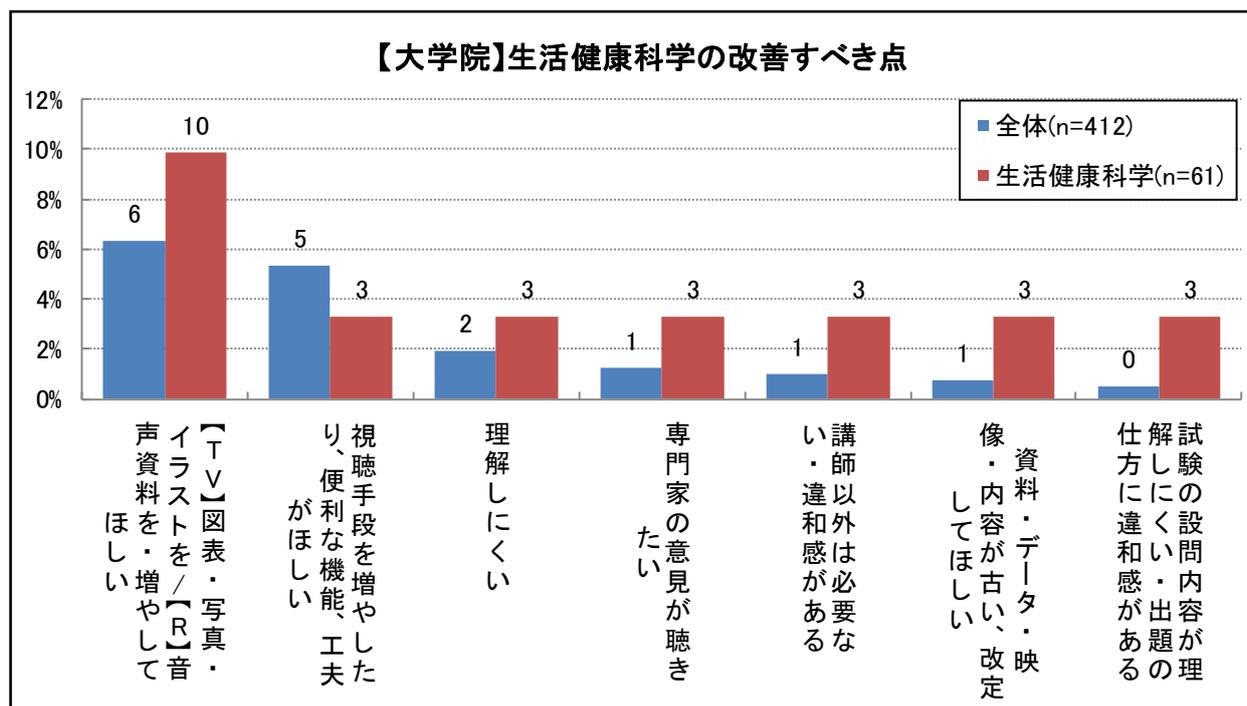
【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」が10%で上位に挙げられ、全体を上回っていた。

後は「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」などが3%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 家族に対する日本の政策を、諸外国と比較して知ることができた。
- 世の中のいろいろな問題点を政治家及び専門家だけに任せるのではなくて、市民が中心になって、市民が議論して、専門家にも話を聞きながら問題提起していくことの大切さを学んだ。問題の本質が、隠されるのではなく、情報の開示により広く議論される事が大切だと感じた。
- 初めてこのような視点からの学びを受けることができた。あまり考えたことがなかった。様々な社会的な問題がある中で、新聞などで見聞きしていた問題も自分事にしていなかったと感じた。この年齢になって今更という思いもあるが、この授業を受講することで大変考えさせられたことは良かったと思う。広い視点で様々なことに注意して学んでいきたいと感じた。
- 現在の日本の戸籍制度の問題点、家制度について、離婚や育児、生殖医療など、様々な視点からそれぞれの制度上の問題などを学ぶことができた。特に戸籍制度について、自分自身も問題に感じることがあり、深く考える材料を与えていただけたと思う。
- 今までの知識だけでなく、新しい観点や考え方が自分にプラスされたと思っている。
- これまであまり問題意識を持っていなかった点に関し、大きな問題をはらんでいることを認識できた。大変興味深い内容であった。
- スポーツ栄養に興味があったので、受講により理解が深まったと感じた。もっと真剣に学びたいと思った。もっと若い時に学びたかった。
- 自分の修士論文に関連する科目であったこと。実際に論文の内容を補強するのに役立っている。
- 世の中や身近に起きている事柄やニュースについて理解が深まり、自分の生活にどのように影響している、してくるのか分かった。
- 家族政策についての流れと現状がよく理解できた。また講師の視点や問題意識がよく分かり、現代社会の喫緊の問題として、家族政策をとらえることができたように思う。
- 家族という言葉に関して、さらに深く学問したいと考え、履修させて頂いた。まだまだ身に付いた知識は浅いとは思いますが、以前よりは、知識が深く広くなった実感が持てている。まだ学び続けたい分野である。
- 健康・スポーツの科学的アプローチについて、例示もあり、分かりやすかった。

改善点

- 実際開催された会議などがYouTube等で参照できると、より問題意識が上がる。
- ゲスト相手にお膳立て通りの対談を繰り返して、置いてきぼりにされてしまったような印象がある。様々な人が聴いていることを前提に、心に響く言葉を届けほしい。
- 放送内容はテキストにない部分が多かったのも、もっとテキストに放送内容を盛り込んだ方が良いのではないかな。
- 時間が無い中で受講しているので、よりシンプルな説明や講話でありつつ、分かりやすい形を望みます。
- 印刷教材に図版等をもう少し増やしていただけると、理解の助けになると感じた。印刷教材は優れていると思うが、図表や統計、アンケート結果に関しては、なるべく新しい、違った観点からのものがあったら良かった。
- ケースとして紹介される人生相談の内容は考えさせられるものが多かったが、今日的なものの割合を高められると、より現代的な課題が把握できると感じた。
- もし可能であれば、実習単位のようなものがあると、個人的には受けてみたい気持ちがある。
- 地域に限らず、他県や世界各国の市民活動を知るためのアクセス方法を、引用参考欄にもっと載せて頂きたい。
- 印刷教材の各章の研究課題の解答例があると、うれしい。
- 通信指導、単位認定試験の内容は簡単すぎると思う。教材に載っていること、そのままの設問は避けて頂きたい。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			13 13	講師の解説が分かりやすかった			1 1
視野が広がった			10 10	講師の熱意・熱心さが伝わった			1 1
興味・関心が持てた			6 6				
今後に役立つ内容だった			5 5				
具体的な事例、実践的な内容があった			5 5				
現在の課題や身近な問題点を学べた			4 4				
勉強になった			3 3				
新しい知識が身についた			3 3				
学習意欲・知識欲がわいた			2 2				
知識の整理に役立った			2 2				
身近に感じられる内容だった			2 2				
深く学ぶ(考える)ことができた			2 2				
専門的な内容だった			2 2				
全体として満足している			1 1				
自分のペースで勉強できた			1 1				
理解しやすかった			1 1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1 1				
基礎的な知識が得られた			1 1				
最新の情報・研究が学べた			1 1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった			2 2
理解しやすかった			1 1

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい			2 2	図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4 4
興味・意欲がわかかなかった			1 1	理解しにくい			2 2
内容の詰め込みすぎ			1 1	文字が読みづらい			1 1
最新の内容を講義してほしい			1 1	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい			1 1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1 1	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい			1 1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった			1 1				
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1 1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい			2 2	指導内容・コメント・対応に不満がある			1 1
専門家の意見が聞きたい			2 2	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない			1 1
講師以外は必要ない・違和感がある			2 2	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい			1 1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい			2 2				
メディアの特性に合わない授業内容だった			1 1				
理解しにくい			1 1				
科目全体の内容・構成が良くない			1 1				
講師の解説・指導が良くなかった			1 1				
印刷教材の内容が異なる・連動していない			1 1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある			2 2
難易度を上げるべき			1 1

- 主な改善点の提案:集約
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
 - 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
 - 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
 - 放送授業:専門家の意見が聞きたい
 - 放送授業:講師以外は必要ない・違和感がある
 - 資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい
 - 印刷教材:理解しにくい

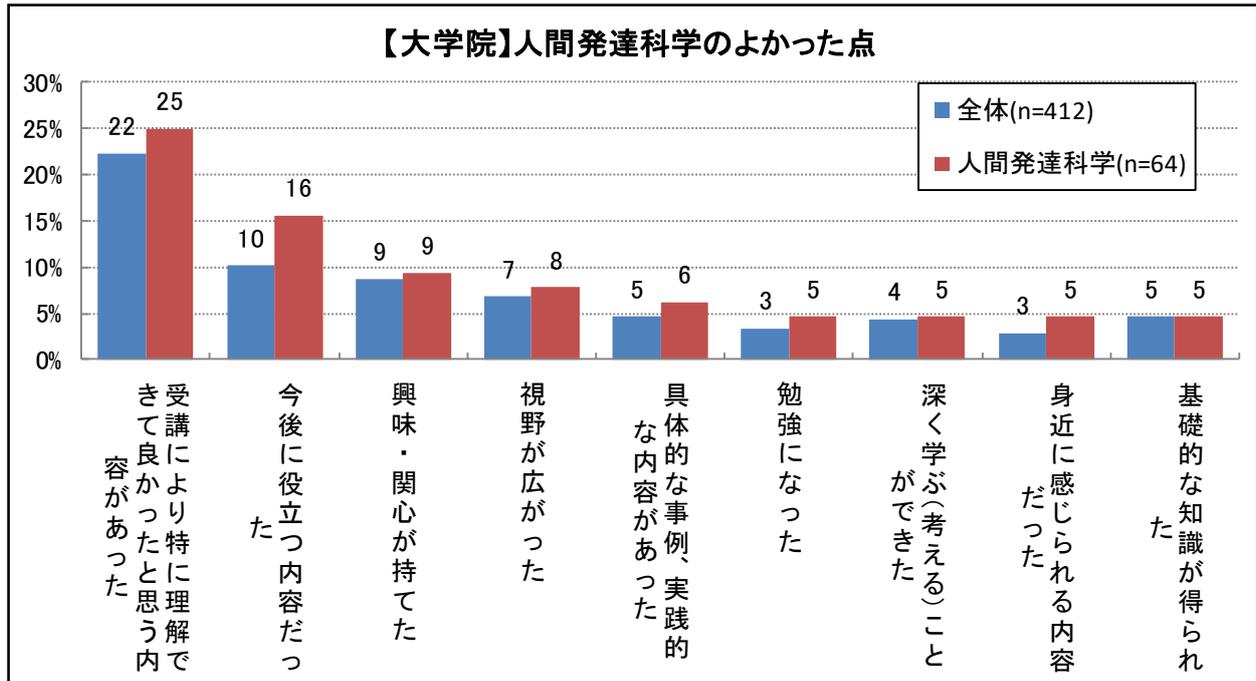
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が、25%で突出しており、次いで「今後役に役立つ内容だった」は16%で、これは、全体を上回っていた。

後は「興味・関心が持てた」などが9%以下で続いていた。

図4-3 【大学院】よかった点

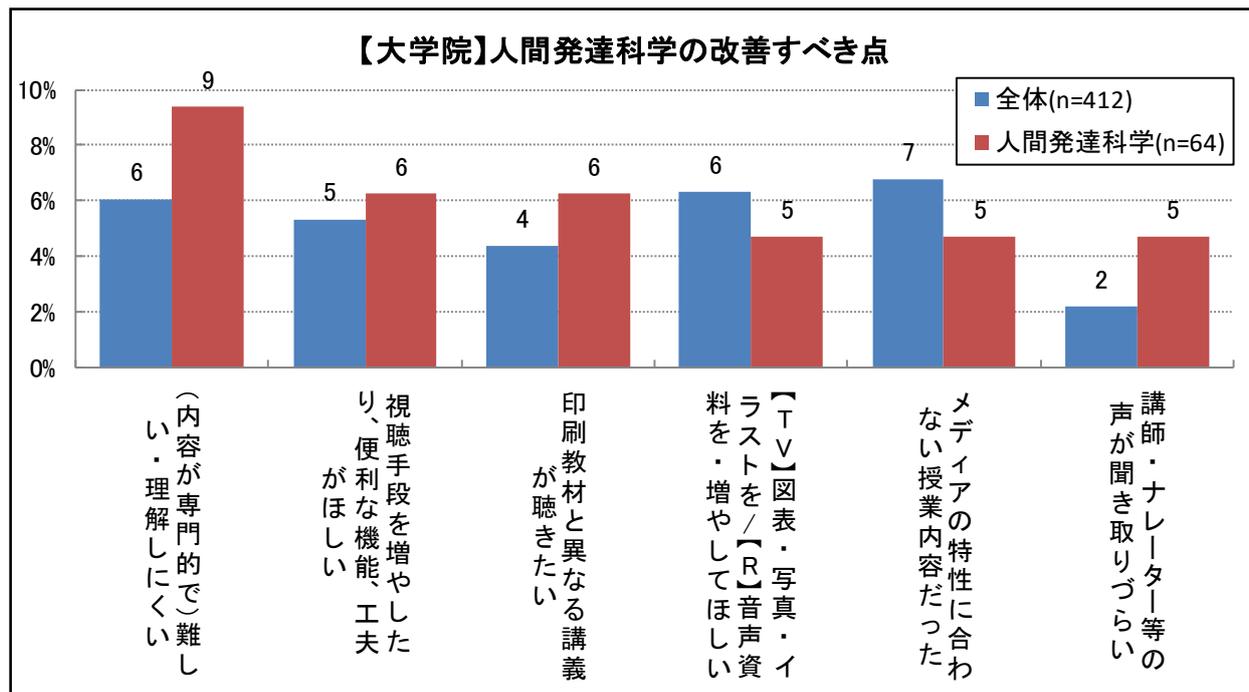


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が9%と最も高く、次いで「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」「印刷教材と異なる講義が聴きたい」が6%で続いていた。

図4-4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 日本の教育制度とは異なる、各国の制度を知ることができた。お手本にしたいシステムもあり、希望がわいてきた。
- 非常勤大学講師としてリモート授業を行っており、留学生も多いので、海外の教育改革について知ることは非常に有益であった。
- 海外の英語教育について知ることができ、とても良かった。特にアジアでの英語教育について詳しく知ることができて良かった。
- 日本におけるシニア女性へのジェンダー教育に関心がある為、この講義で、各国の教育への改革を知ることが出来たことは、とても有意義だった。
- 自分の学習方法を改良していくためには、カリキュラムの考え方は貴重な知識だった。
- 修士論文を書く際の注意点や、論文作成の進め方が毎回書かれており、大変勉強になった。
- OECD、PISA 調査、SDGs などの理解が進んだ。また、各国の教育改革や生涯学習も興味深く、受講して良かった。
- 各国の教育最前線事情を知ることができ、日本の現状がなぜこうなっているのかも理解が深まった。親の立場としても、大変興味深い内容だった。
- 諸外国の事情については、なかなか見聞する機会がないため、とても有意義であったし、改めて日本の教育について考える機会となったことに満足している。
- 教育現場においてカリキュラムの問題は常時気にかかるものである。また、最近の教育環境の変化の中で、「何が大切なのか？」について、改めて考える良い機会となった。
- 教師ではない立場（教師の手伝い）で、学校勤務時に、専門的な内容を幾らかでも理解して仕事をしたかったので、助かった。
- 教職に携わる上で必要な知識を学べたこと。職務に直接関連性があり、有用であること。
- カリキュラムの最新の理論と情報が紹介されていて分かりやすい。
- 身近で、曖昧に理解していた「カリキュラム」にまつわる事柄を、いろいろな角度から学ぶことができた。
- 看護学校の教員の登録にこの科目の単位が必要だとのことで受講した。学ぶ姿勢に対して、放送大学という存在が環境作りをしてくださるので、お金、時間とか、色々な壁があっても平等性を感じられた。

改善点

- 経済学者の専門的な話は理解に苦しむので、もう少し噛み砕いて欲しい。
- ラジオ講座だったので、印刷教材を見ながらの受講だったが、真っ暗な画面を見ながらの受講は勉強意欲を低下させる。画像があったら良いのに、と何度も思った。
- 放送内容と印刷教材の内容がほぼ同じだったので、放送を一通り聞いたあとは印刷教材だけで勉強を進めた。それぞれのメディアの特性を活かして、別の内容にしても良いと感じた。
- 印刷教材の説明も、もう少し放送教材の中で説明してほしいと思った。テーマに合ったゲストをお呼びしてその内容が放送されているが、時に、その内容が全く印刷教材に含まれていないこともあった。
- この科目を受講して、改めて修士論文とは何かを考えた。1年1学期に受けた e ラーニングで分かったようなつもりでいたが、全く分かっていなかった。
- 制度のみではなく、生徒視点の内容がもう少しあってもよいかと思った。
- いくつかの国や地域の教育の違いについて、単純比較できるポイントを3つくらい設定していただけたら、分かりやすいと思う。しかしながら、内容がかなり充実していたので、学習内容については大変満足している。
- テストが難しい。微妙なところはやめてほしい。教材通りに出してほしい。
- 単位認定試験が難しかった。通信指導と比べて、内容が難しかった。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	16		16
今後に役立つ内容だった	10		10
興味・関心が持てた	6		6
視野が広がった	5		5
具体的な事例、実践的な内容があった	4		4
勉強になった	3		3
身近に感じられる内容だった	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	3		3
基礎的な知識が得られた	3		3
全体として満足している	2		2
知識の整理に役立った	2		2
内容・構成が良かった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
理解しやすかった	1		1
新しい知識が身についた	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1
最新の情報・研究が学べた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が良かった			1
講師の解説が分かりやすかった			1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った			1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
努力不足だった	2		2
内容・構成が良くない	2		2
内容が専門的で難しかった	1		1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき			2
評価方法に不満がある			1
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった			1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	5		5
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	4		4
印刷教材と異なる講義が聞きたい	4		4
メディアの特性に合わない授業内容だった	3		3
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	3		3
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	3		3
科目全体の内容・構成が良くない	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		2
専門家の意見が聞きたい	1		1
印刷教材の内容が異なる・運動していない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	2		2
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない

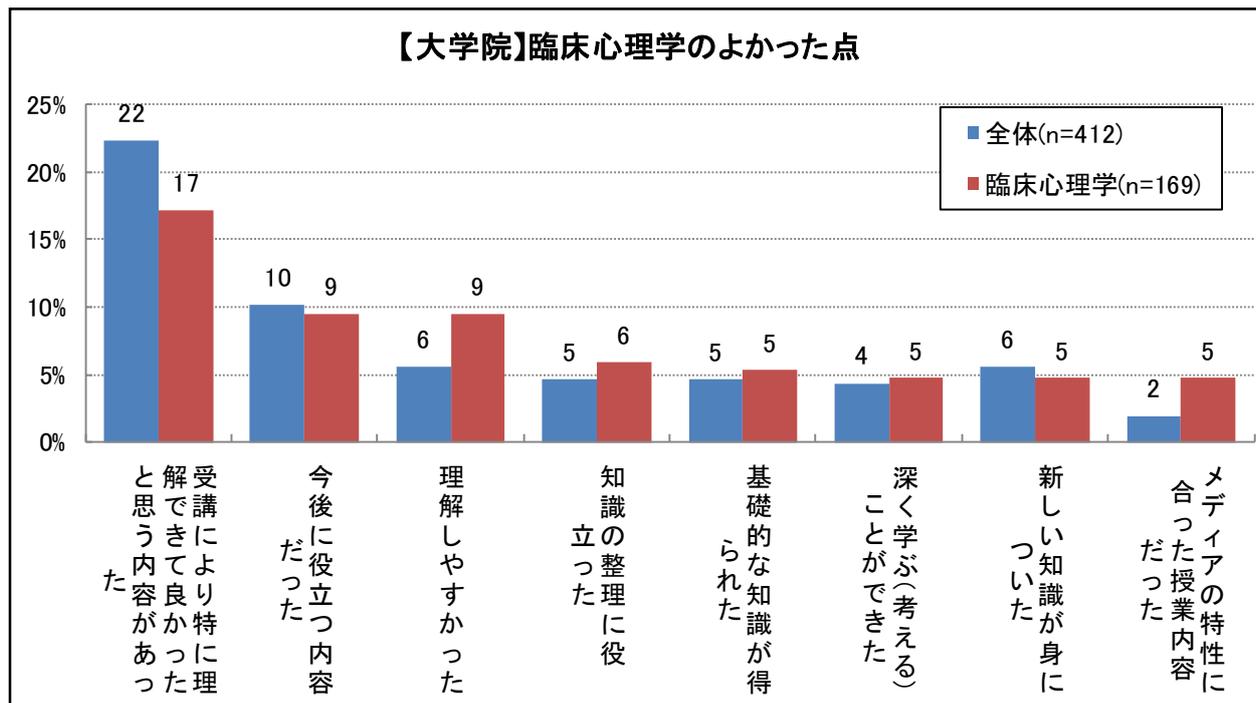
【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が17%と最も高く、次いで「今後に役立つ内容だった」「理解しやすかった」が9%で続いていた。

以降、「知識の整理に役立った」などが6%以下で挙げられていた。

図4-5 【大学院】よかった点



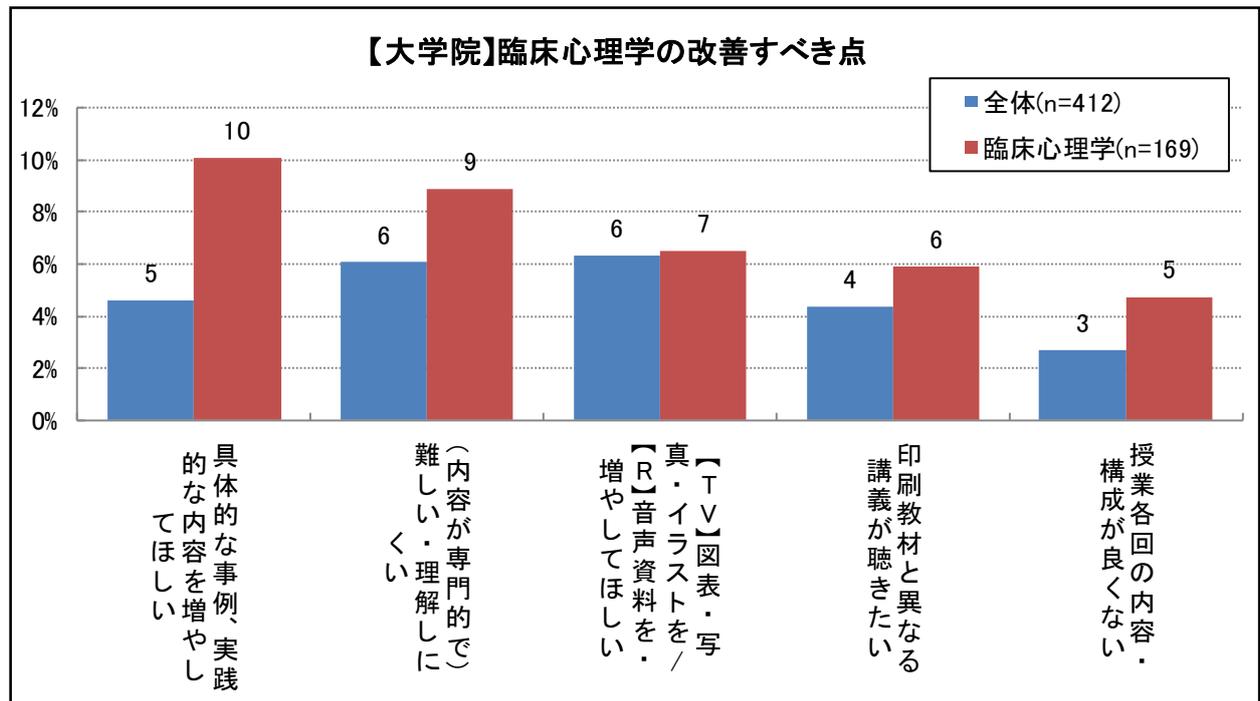
【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が10%と高く、全体を上回っていた。

次いで「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が9%、「【TV】 図表・写真・イラストを/ 【R】 音声資料を・増やしてほしい」が7%、他に「印刷教材と異なる講義が聴きたい」などが、6%以下で挙げられていた。

図4-6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 発達の段階で、その時期にすべきこと、注意すべきことがあることが分かった。特に、親や教師といった生き方の見本となる人には学ぶ価値が高いと思った。
- 臨床心理士の具体的な面接の仕方を視覚的に学べて大変良かった。
- 放課後、児童指導をしている中で、児童とのかかわり方や、かかわりが難しいと感じられる子供へのアプローチ方法などにヒントを得られたと思う。
- 学校で教員をさせて頂いているが、学生だけでなく、他の教員にも学んでほしい内容だと思った。今後の教員生活において役立てていきたいと思う。
- 生涯発達の観点から、受精から高齢期、死を迎えるまでの人生の連続性があり、理解しやすかった。その時期特有の課題もあり、実践上、役立った。
- 実際に統計を用いて論文を書く際の知識を身に付けることができた。
- 学校カウンセリングの大切さについて再認識できた。相談時の意識、心構え等についても理解できた。また、再現ドラマで細かく理解できなかった部分については、印刷教材で理解することができた。
- 私自身、2歳の子供がいるのでとても興味のある内容だった。言葉や知能、行動などが、これからのように発達していくのか分かった。もっと早く学習しておけば良かったと思った。
- テレビ科目で、実際の事例をドラマで見せてもらったので、具体的で非常に分かりやすかった。どんな時に教師がどんな態度を取っているかなど、参考になり、今まで疑問に思っていたことがよく学べたと感じる。
- 発達という概念を、大学院レベルではあるが、基礎的な点から説明がなされているのは理解の助けとなった。
- 現在、学部の心理と教育コースも受講しているが、大学院での講座は更に踏み込んだ内容となっており、大いに視野が広がった。
- 統計分析が試験そのものを変えていることや、どう未来を予測していくのか、その方法がとても面白かった。後半になるほど興味深かった。
- 「医療分野でのコラボレーション」で、「パーソン・センタード・アプローチ」、一人ひとりを尊重し、多職種連携を行い、チーム医療で、それぞれのメンバーが対等な関係で、オープンダイアログで、ヒエラルキーを超えて治療的民主主義を行うという講義は、SDGsにつながり、いろいろな方面で応用できるのではないかと、希望を頂いた気がする。
- 個人情報には配慮しつつも、各学校段階での具体的な場面の設定がなされた事例を取り上げてあったので、分かりやすかった。おかげで、イメージを持ちやすく、学習の理解が深まったと感じた。
- 統計に関して、ほとんど知識がなかったので、この講座を受講した。難しい部分も多くあったため、何回も印刷教材を見直した。今後、心理の勉強をしたいので、必須だと思って勉強した。
- 臨床心理学と社会との関係や役割が明確に示されたこと。心理学の社会での位置づけが分かった。
- ベイズ統計や一般線形モデルなど、統計学の最前線を概観できる内容だった。
- 研究に統計の手法を取り入れることで、分かりやすさや説得力が大きく高まると認識できた。
- 大学院科目でありながらも、統計の基礎から学ぶことができる科目であった。
- 「臨床心理」と「地域援助」という、二つのテーマがどう統合されるのか、学問として学べた。
- 英語教育に携わっているが、これまで実践発表は生徒の作品を示すことしかできなかった。今後、統計の知識を活用し、生徒の変容を数値やデータで具体的に示すことで実践発表できればよいと考えている。
- 人の生涯発達のプロセスを、世代ごと、テーマごとに学べたのが良かったと思う。
- 私は心理系の資格取得を目指しており、その勉強にも役立った。発達について、これまで学んだことを見直すことができた。

【大学院】「臨床心理学」 抜粋

改善点

- たまたまだと思うが、自分が視聴した回は印刷教材の補足のような説明が多かった。正直それ以降は、内容がコンパクトにまとめられている印刷教材での学習に偏ってしまった。印刷教材の学びを深めるエピソードなど、放送授業ならではの内容が多いとありがたい。
- 事例のビデオは、外国の事例の代わりに日本人の子供に登場してほしいと感じた。肖像権等が課題とは認識しているが。
- せっかくの TV 授業なので、もっとパワーポイントを使って分かりやすい画面や、視覚的に理解しやすいイラストが欲しかった。今どきのパワーポイントやイラストを使った教材を見慣れてしまうと、事例の再現映像以外は物足りなく感じた。今どきのネット上の講義映像などから比べてみても高いレベルとは感じられず、そこが残念だった。
- 視聴している受講生が実践する視点から、留意すべき点などを示してもらいたい。
- 図表番号が途中で、印刷教材と放送内容とで順序が合っていなかった。
- 放送を聴きながら図表を見る事に追いつかず、何度も戻しながら聴き直した状態だった。TV 授業で受けたかったと思った。
- やはり、動画で図示されたらもっと容易く理解できるのと思った。次元が高くなっても、動画なら表現の幅が広がるはずだ。3D 表現も時間の次元を用いることにより感覚的に一次元増やせるはず。予算の問題もあるだろうから、全編でなくともかまわない。要所要所に、数分で充分なので、参考動画があると次に学ぶ方達の助けとなると思う。
- 各年齢における代表的な例を、再現ドラマ等を用いて紹介いただいたので、大変分かりやすかった。15 回では限界があるが、より多くの事例があるとさらに理解を深めることができる。
- とにかく統計学は数学を天降り式に用いるので、数学を専門とした学生にとっても決して易しくない。全体的に高度な内容が多いように思えたので、数学的基礎をもう一章増やし、統計手法の話題を厳選しても良いのではないか。
- テキストで分かることよりも、その学習にまつわるトピックスをあげてもらうなど、科目に対して興味を深められる内容が欲しい。
- ゲストの実践例も大切だが、実践に役立つかに疑問があった。カウンセリングの際のポイントが示されると分かりやすい。
- 発達心理学は、子育てなど日常生活に直接的に関係しており、在学生からの関心が高い科目だと感じる。他の科目以上に、最新の研究知見を取り入れると同時に、普遍性の高い内容が求められるのではないだろうか。
- 各章のタイトルの横に、その章を代表するような図が欲しかった。例えば分散分析とかベイズ統計とか、人の図や内容の図、どんな時に使うと便利、など、一目で分かりやすいような図があると、「この章では何を学ぶのかな」とイメージしやすく、そのイメージに当てはまるような方向性を考えながら、学びを進めていったのでは、と思う。
- 授業内で扱った統計ソフトの使用方法などを補助教材として、アップロードしていただくと、より理解が深まると感じた。
- 内容を理解するまでに何度も教材を読み返して理解するよう努めた。教材自体は平易な記載でとても分かりやすかったが、理解しなければならぬ情報量が多く、履修に苦戦し、途中でくじけそうになった。
- 演習問題の模範解答を丁寧に載せ、問題を解く過程からその章の学習内容をしっかりと振り返ることの出来る構成が欲しかった。
- 文系出身の学生にも分かりやすいように、もう少しレベルを下げたところから授業をしていただきたいかった。数学的な知識の差により、理解度が大きく変わると思った。この授業は理系出身の現役学生にとってはきっと分かりやすいものであったと思う。
- 少し映像にレトロ感があり、出演する生徒も、今どきあのような格好の中学生はいないかな…と想ったりしたが、どうだろうか。
- 試験問題や通信課題の内容が、学習目標のようなものと対応しているのか、やや疑問。

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	9	8	17	印刷教材と異なる講義が聞きたい	5	5	10
難しかった	1	7	8	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	6	2	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		6	6	授業各回の内容・構成が良くない	5	3	8
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	3		3	印刷教材の内容が異なる・連動していない	4	2	6
最新の内容を講義してほしい	3		3	理解しにくい	2	4	6
努力不足だった	2	1	3	メディアの特性に合わない授業内容だった	1	4	5
内容・構成が良くない	2	1	3	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	3	1	4
現実に生かせる内容にしてほしい	2	1	3	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1	3	4
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1	1	2	専門家の意見が聞きたい	1	1	2
内容が基礎的で物足りなかった		2	2	図・表・写真・映像が見づらい	1	1	2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		2	2	放送授業の時間(スケジュール)が合わない	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	ポイントがつかみにくい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1	科目全体の内容・構成が良くない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	講師は1人の方が良い	1		1
学習センター・図書館・サテライトスペースが利用しにくかった	1		1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
興味・意欲がわかなかった		1	1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ		1	1				
内容が専門的で難しかった		1	1				

印刷教材			
意見			合計
放送授業中の資料・データを載せてほしい	1	3	4
理解しにくい		4	4
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		3	3
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
内容・構成が良くない		1	1
誤植がある		1	1

通信指導			
意見			合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1	2
課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1		1

単位認定試験			
意見			合計
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なり	1		1
難易度を上げるべき	1		1

主な改善点の提案:集約

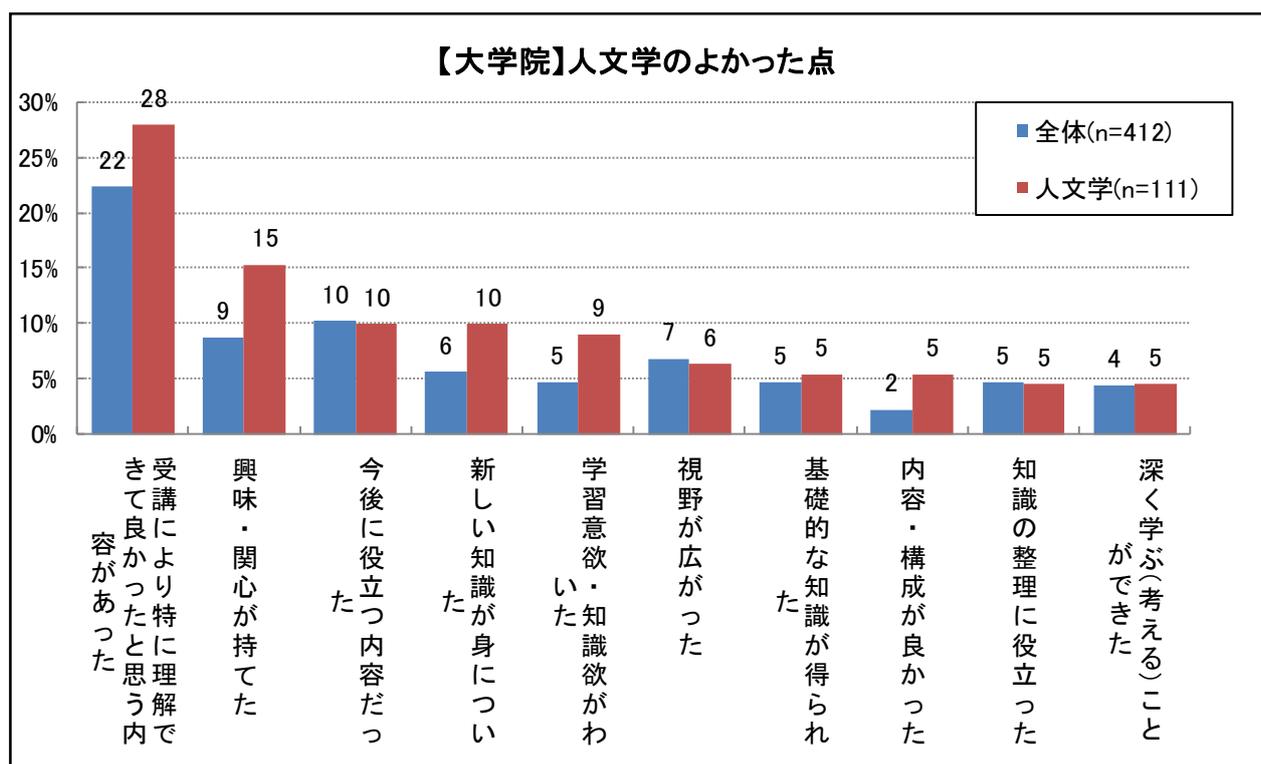
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 難しかった
- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない

【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が28%と他の項目から突出しており、他に「興味・関心が持てた」(15%)、「今後に役立つ内容だった」(10%)、「新しい知識が身についた」(10%)など、10%以上の項目が多く挙げられていた。

図4-7 【大学院】よかった点



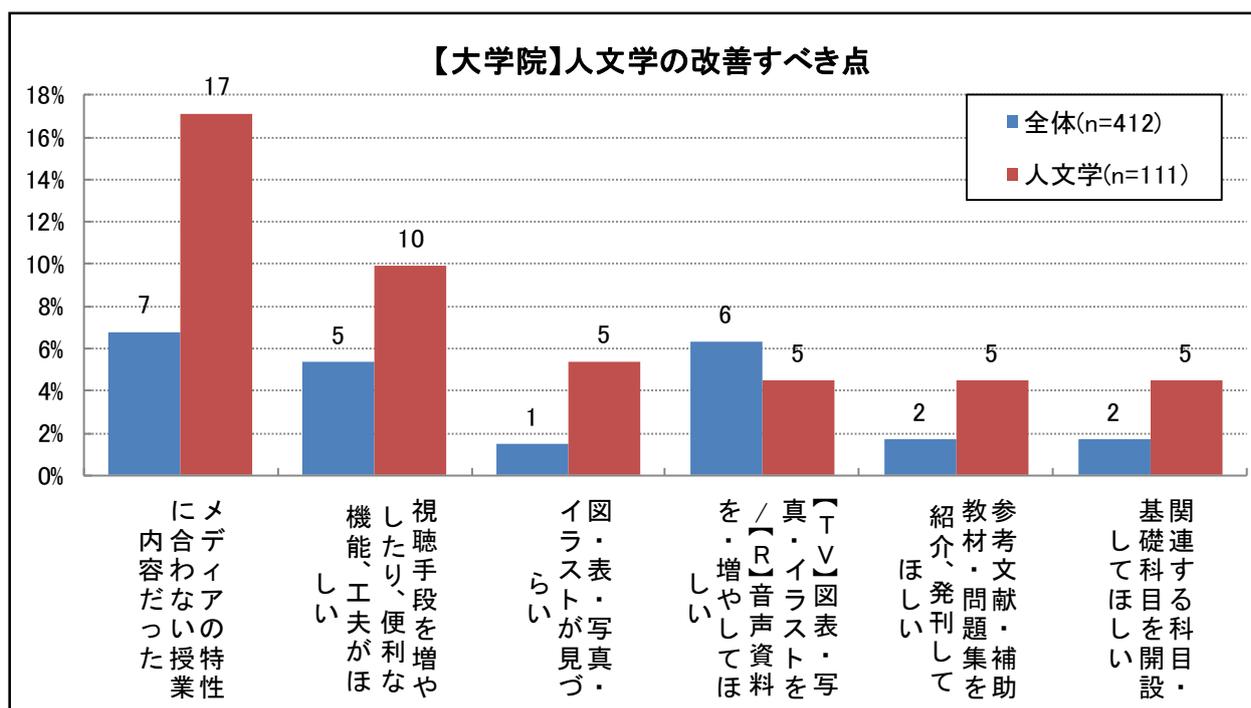
【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「メディアの特性に合わない授業内容だった」が17%と最も高く、「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」が10%でこれに続き、両項目とも全体を大きく上回っていた。

他に「図・表・写真・イラストが見づらい」などが5%で続いていた。

図4-8 【大学院】改善すべき点



よかった点

- 中世ヨーロッパの身分ごとの衣食住が理解できて良かった。
- 歴史研究における文字史料の重要性はもとより、活用する上での心構えや目配りすべき点、古文書としての体裁・体系を、実際の適切な史料で学ぶことができた。またテキストに取り上げられた文字史料すべてが興味尽きない史実の紹介だった。
- 日本文学の奥行きを感じた。注釈の歴史に詳しく触れたのは今回が初めてだった。今に続く系譜、そして作者や作品、注釈がどのように関わり影響し合ったかが理解できた。
- この授業を受講して、この時代のアメリカが想像以上に多様性に富み、多岐にわたって展開していたかを知ることができた。特に13章以下は大変役に立った。
- 初めての通信で不安もあったが、興味深い事例で大変参考にもなり、楽しい講義だった。
- 古典作品が注釈が行われるようになった年代順に配列された構成を、とても興味深く読んだ。
- 毎回興味を喚起し、「発見」を用意する講師の素晴らしい知識と技量に感服した。
- 大学の国文学科を卒業し、高校国語教員として長く働いているが、勉強不足で全く知らないことばかりが次々出てきて、本当に為になった。
- 歴史という流れの中で、特に修道院との関係を知ることができ良かったと思う。また、教会と世俗社会との関係の複雑さについて意識することができるようになり、現代でも、社会を考える上で役に立つと思う。第15回の「展望」も役に立った。
- 授業で扱った内容の多くが、修士論文と関連するもので、論文作成にとっても参考になった。
- テキストが分かりやすく、なかなか触れる機会の無かった史料に多く触れることが出来た。さらに掘り下げた史料に触れてみたいと考えるようになった。
- 研究史という観点から日本の古典文学のことを知ることができ、文学を学ぶ意欲をかきたてられた。また、過去から蓄積されてきた文学研究の多様性の中で、自分の研究を相対化し考え直すきっかけになった。
- 古代から近代までの歴史資料への理解が深まった。歴史資料だけでなく、歴史自体への関心も、これまでとは違う角度で持てるようになったと考える。
- 西洋中世史について、さまざまな切り口から学習することができ、幅広い見方で考えることの重要性が感じられたのが良い点だと思う。特に文化の面を時代に即して考えることができる編集になっていたのも、興味深い内容だった。
- 20世紀初頭、世の中が帝国主義へと移り変わろうとしていた時代に、モダニズムの文化と文学が果たした役割を、教材（印刷教材、放送教材、通信指導、単位認定試験）を通じて一連の流れが理解できるように構成されていた。
- 西洋中世史における知識が混沌として断片的であったが、理解が深まったような気がする。試験の成績は悪かったが、印刷教材以外にも文献に当たり、読んで学ぶ機会を持つことができたので満足している。
- 本講義では、芸術観・芸術論を、いくつかの過去の文化・芸術上の事象を拾い、通貫して関連づけ、組み立てていく、その手法に興味深く感じた。
- とても難しい内容であるが、分かりやすくするような先生の御努力が感じられた。
- テキストに取り上げられた文字史料すべてが、興味尽きない史実の紹介だった。

【大学院】「人文学」 抜粋

改善点

- オンライン科目として開講しても良いのではと思った。史料の提示や歴史事実のあった現場の雰囲気も伝えられたのでは思った。
- この授業はぜひテレビにして頂きたいと思った。音声だけでは、せつかくの内容の広がり十分に伝わらない。もったいないと思う。
- テレビであれば、普段見られない当時の修道院の様子などが分かるような写真や絵などが見られて良かったかもしれない。
- ラジオ番組だが、絵とか写真だけではなく、グラフなど、Webのどこかでアクセスできるとか、何らかの形でビジュアルデータがあればよいと思った。
- 印刷教材に掲載されている画像、図は理解を助けてくれるが、放送授業でも、それらと本文内容との関連について案内や説明をしていただきたい。
- 具体的な写本を教材にした講義、ここで使われている写真映像が小さく、拡大鏡と共に見ていた。ここだけでも、もう少し大きな写真映像にしていただけると助かる。
- 原史料の図版を部分的に拡大して、問題点がよく確認できるとさらに良いと思う。
- 隣接する科目が少ないのが気になる。唯一の日本史専門科目であり、他の日本史に関する勉強をしたくてもできないことが不満。
- 時代を俯瞰する目と思考力を養う必要性から、地理学的観点をも視野に、このような日本の歴史・文化に関係する科目をさらに増やしていただきたいと思う。
- 図表は別刷りでもよいので、資料集として豊富に用意して頂けると、より理解が深まると思う。
- 取り扱う作品が身近にないため、その内容や体裁をより身近で分かりやすくするために、印刷教材中の説明箇所近くに画像を掲載し、その数をさらに増やしていただけると助かる。
- 印刷教材の誤記が多かった点。発表された正誤表のもの以外にも見つけたが、どこに連絡すればよいか分からないため、そのままとなっている。
- 印刷教材の修正が配られたが、修正ではなく、改訂版を出した方が良いと思う。
- こんなに難しいとは思わなかった。面接授業の方がよいと思った。
- インターネットを活用して実際のデータベースにできるかぎりアクセスしたが、データベース構造を理解していないと、たどり着くまでが容易でないものもあった。そのあたりを解説されたものが資料としてあるとよいと思った。
- 第二次世界大戦、とりわけアジア民族国家たる日本の台頭は、アメリカの社会・文化に影響があったものと思う。今後、そのようなことも含めて講義いただければ、と思う。
- 生徒に伝えるべき事が多すぎて、まとめた表現が少し枠をはみ出す観があった。1年を通した科目があっても良いと思う。
- 授業内容及びそれに関する事柄について、やっと質問が整理された頃には、質問をできる期間が過ぎてしまったことを知った。大変残念である。この点を工夫できないだろうか。
- ブラック・エンペラーの項目で、紙面的には制約があったのかもしれないが、より詳しい歴史的背景の記載があれば良いと思った。
- 通信指導の講評について、記述式であったので、もう少しボリュームのある講評を期待したいが、受講生が多ければ難しいのかと思う。ご検討願いたい。
- 通信指導の分量がもう少し多くても良いのではないかと感じた。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			31 31
興味・関心が持てた			17 17
新しい知識が身についた			11 11
今後に役立つ内容だった			11 11
学習意欲・知識欲がわいた			10 10
視野が広がった			7 7
内容・構成が良かった			6 6
基礎的な知識が得られた			6 6
知識の整理に役立った			5 5
深く学ぶ(考える)ことができた			5 5
具体的な事例、実践的な内容があった			4 4
全体として満足している			3 3
勉強になった			3 3
楽しかった			3 3
理解しやすかった			2 2
科目の学問的性質、位置づけが分かった			2 2
専門的な内容だった			2 2
身近に感じられる内容だった			1 1
自分の意見・考えを持てるようになった			1 1
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった			4 4
講師の熱意・熱心さが伝わった			2 2
講師が良かった			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった			2 2
読み物として面白い内容だった			2 2
理解しやすかった			1 1
学習内容の理解・整理に役立った			1 1
図・表・写真・イラストが良かった			1 1
引用・参考文献の紹介が良かった			1 1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った			1 1

【大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			5 5
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			5 5
難しかった			2 2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2 2
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった			2 2
期待していた内容ではなかった			1 1
内容・構成が良くない			1 1
内容の詰め込みすぎ			1 1
内容が基礎的で物足りなかった			1 1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1 1
授業科目案内は内容が不十分だった			1 1
質問や相談がしたい			1 1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
メディアの特性に合わない授業内容だった			19 19
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい			11 11
印刷教材と異なる講義が聞きたい			4 4
授業各回の内容・構成が良くない			3 3
放送授業の時間(スケジュール)が合わない			2 2
講師の解説・指導が良くなかった			2 2
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい			2 2
図・表・写真・映像が見づらい			2 2
理解しにくい			1 1
講師は1人の方が良い			1 1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい			1 1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストが見づらい			6 6
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4 4
色刷りにしてほしい			4 4
誤植がある			3 3
あまり良い教材ではなかった			1 1
内容が薄い・少なすぎる			1 1
放送授業中の資料・データを載せてほしい			1 1
索引を充実させてほしい			1 1

通信指導		
意見	合計	合計
指導内容・コメント・対応に不満がある	1	1
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1	1
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1

単位認定試験	
意見	合計
記述式、および記述に関して改善してほしい	1 1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストが見づらい

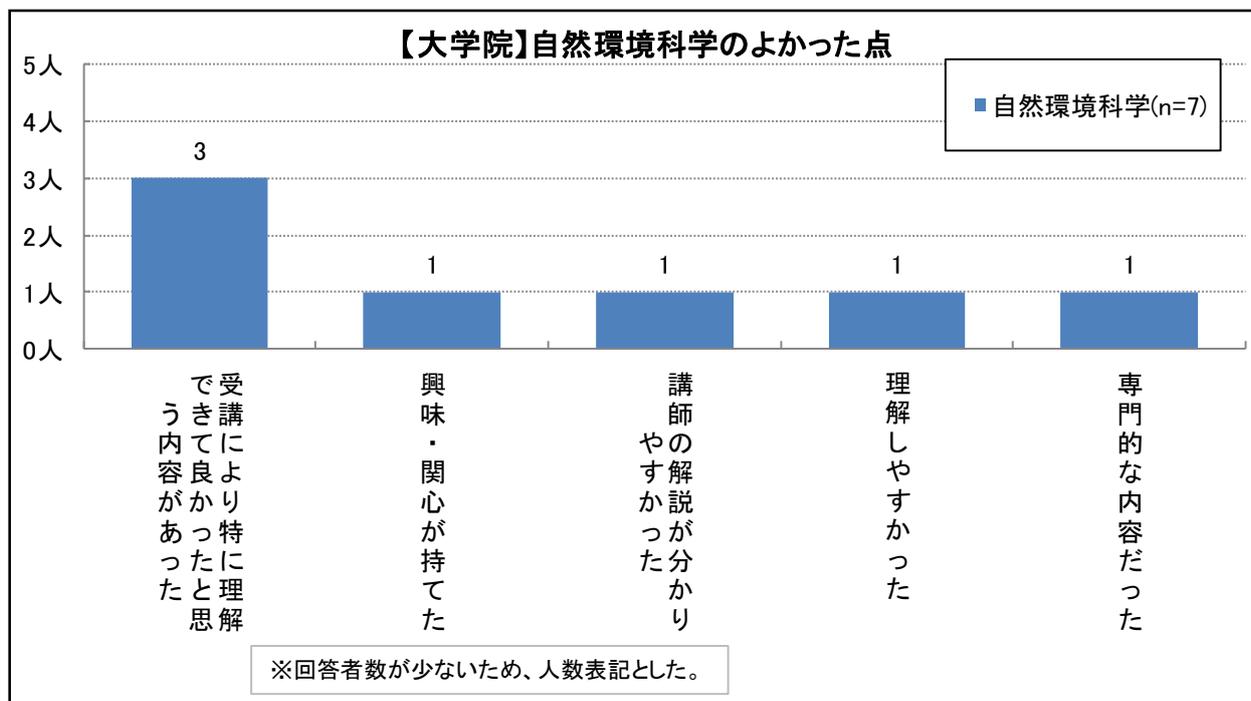
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい

【大学院】「自然環境科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が3人、「興味・関心が持てた」「講師の解説が分かりやすかった」などが、1人から挙げられていた。

図4-9 【大学院】よかった点

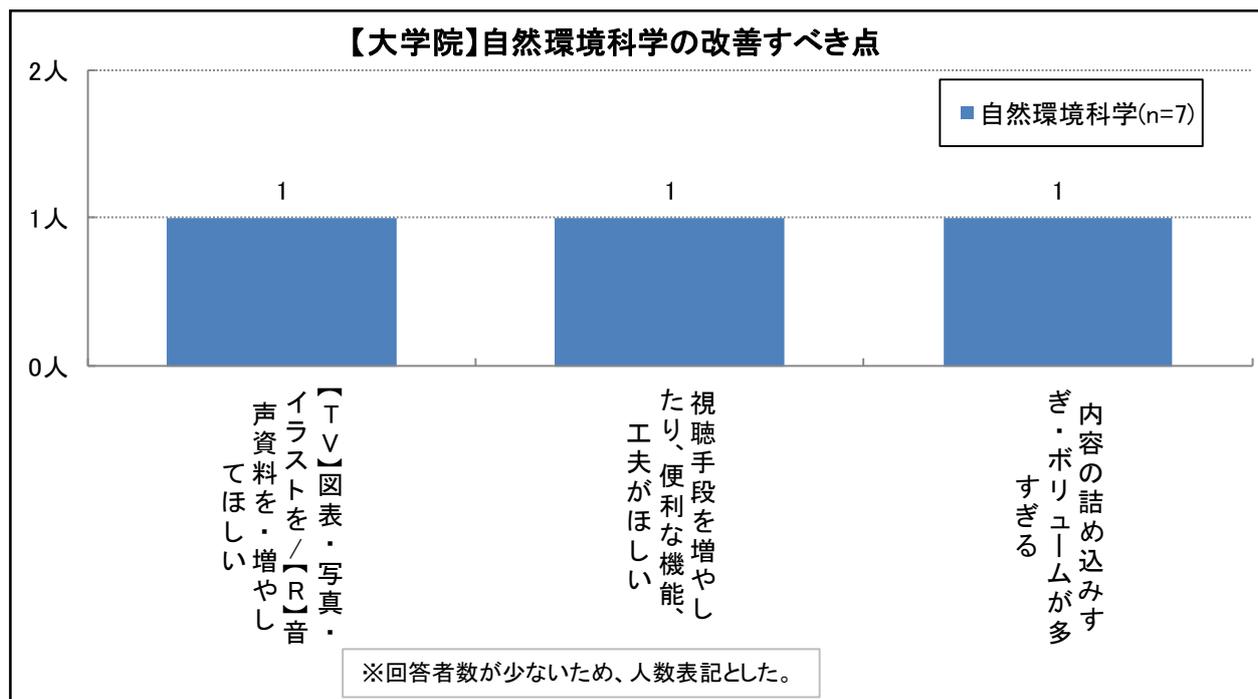


【大学院】「自然環境科学」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」「内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる」が、それぞれ1人から挙げられていた。

図4-10 【大学院】改善すべき点



【大学院】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 差分方程式、空間に関して理解を深めることができた。
- 課題解決に理論をどのように応用するか、理解を深めることができた。
- 「学びの広場」は大変役に立った。位相空間も少し触れることができた。
- 離散方程式やフラクタルに関して、全く知識がなかったため、この科目を受講したことで興味を持つきっかけになった。
- 計算能力の重要性を再認識した。
- 講師の先生の話し方が丁寧で、初心者には分かりやすかった。
- インターネット動画配信がありがたかった。

改善点

- テレビ放送の枠が少ないようなら、本科目のように、できるだけインターネット動画配信にしてほしい。
- テレビなので、より図を活用した講義を行ってほしかった。
- インターネット動画配信で、「特別問題演習回」のような追加講義があればとよい。
- 改善点ではないが、1回45分、全15回では、時間が少ないように思う。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3		3	講師の解説が分かりやすかった		1	1
興味・関心が持てた	1		1				
専門的な内容だった	1		1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:理解しやすかった	1		1

【大学院】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容の詰め込みすぎ	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 内容の詰め込みすぎ
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が 5%以上の場合、改善すべき点は、比率の高い上位 5 項目を掲載した。

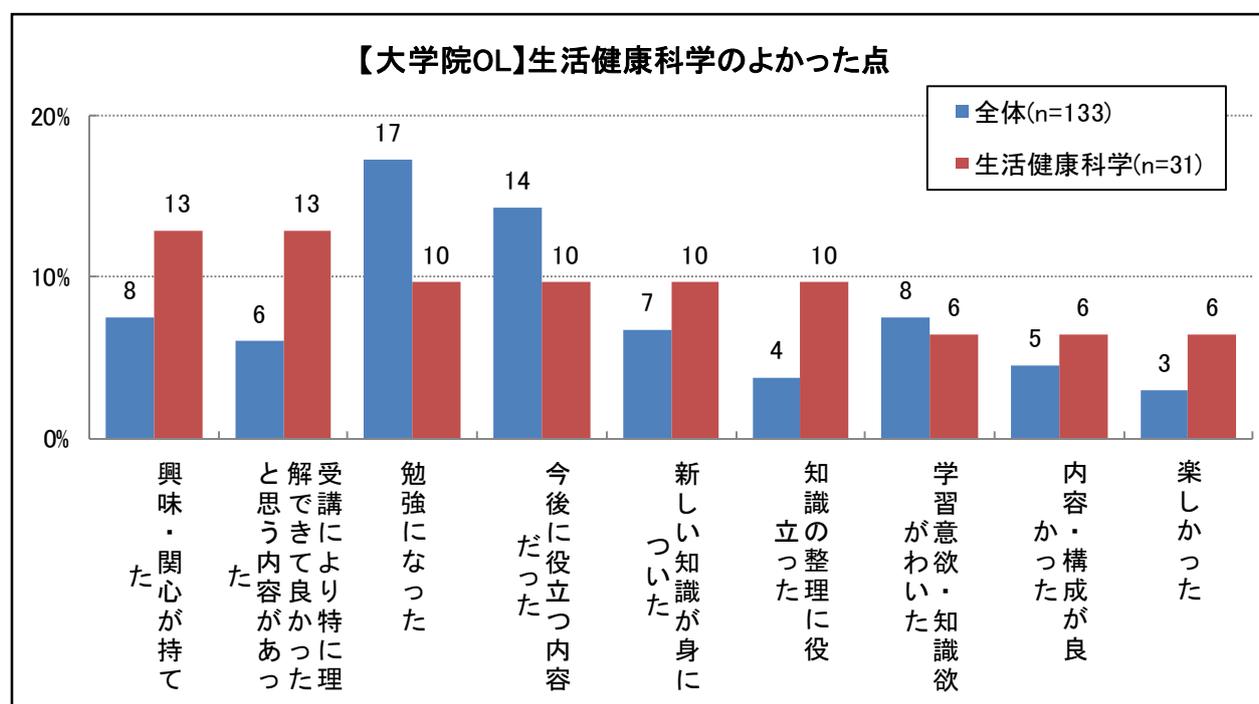
大学院 オンラインは各プログラムの回答者が 30 人代と少ないため、全体との有意な差が出にくので、全体の値は参考値として扱ってきたい。

【大学院 オンライン】「生活健康科学」と情報学の傾向

よかった点

10%以上の項目は、「興味・関心が持てた」「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」「勉強になった」「今後に役立つ内容だった」「新しい知識が身についた」「知識の整理に役立った」と多岐にわたっていた。

図 4-11 【大学院 オンライン】よかった点

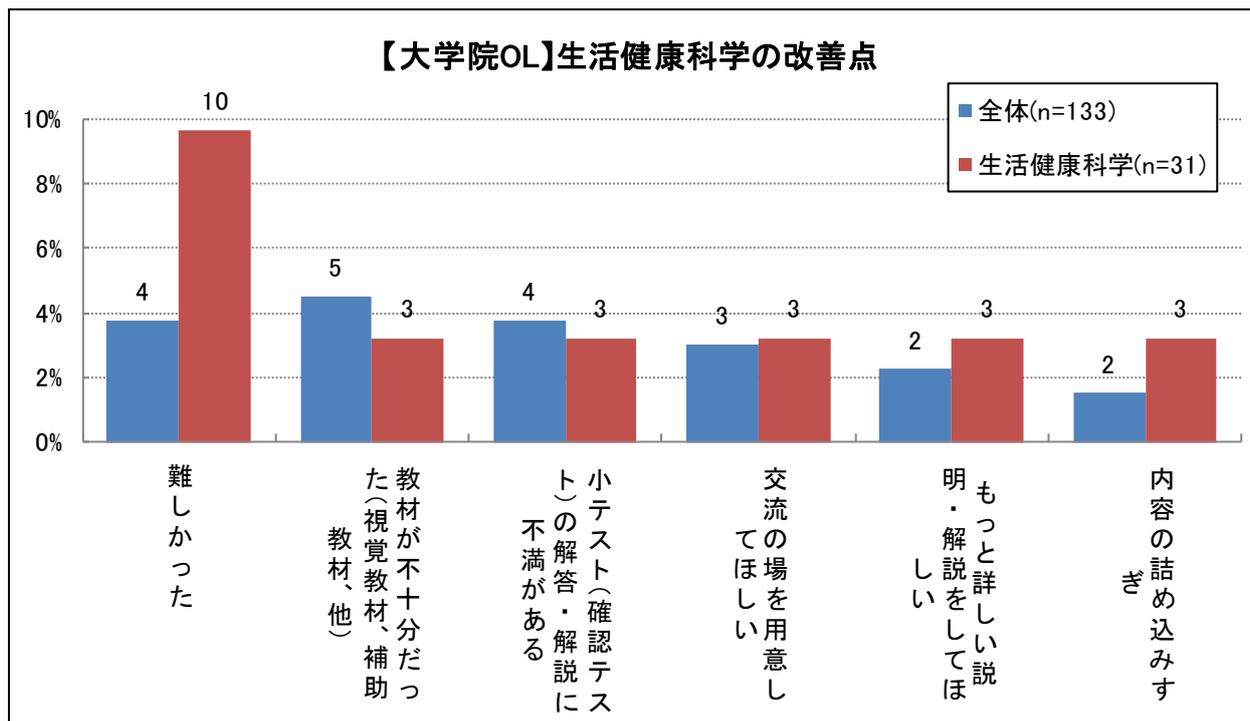


【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

改善点

「難しかった」が10%と突出しており、他では「教材が不十分だった（視覚教材、補助教材、他）」など、3%の項目が多く挙げられていた。

図4-12 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 機能性食品やアレルギーなどに関して、しっかり学ぶことができた。
- 具体的な物質の化学的な構造が分かって良かった。
- ”食”が生命維持にどれだけの影響を与えるのか、これまであまり関心をはらってこなかったのに、思っていた以上で驚いた。大変興味深かった。
- 健康への興味・関心が高まり、健全に生きることの大切さを学ぶことができた。特にバランスのよい食事、適切な運動、十分な睡眠などが、健康な生活を継続するために必要不可欠であることを改めて認知した。
- 食健康に関する知識を、科学的根拠をもとに理解ができたことは良かった。
- 以前から興味のある分野で、復習を兼ねながら最新の知見を学ぶことができた。
- 「食と健康」の内容も「食健康科学」の内容も、ただ結果を覚えるだけではなく、なぜそうなるのかと、物事の仕組みを丁寧に教えてもらった。「あっ、そうだったのか！」と納得することがたくさんあり、とても楽しく勉強ができた。
- 高校では化学の科目が嫌いではなかったはずだが、40年間のブランクがあるので、なかなか難しい。だが、思い出すこともあり、懐かしく感じながら学習を進めている。
- 普段から何となく食べている食事に興味が湧いた。また免疫やアレルギーについての知識が増えた。参考文献を購入して、もう少し勉強を進めてみようと思う。
- 講義の構成がコンパクトにまとめられて、要点を押さえることができて良かった。
- スライドの図やグラフが分かりやすく、理解を深めるのに役立った。
- 放送大学で、これだけ高いレベルの、そして最先端の授業が受けられるとは思っていなかった。嬉しくて涙が出てしまった。
- 前学期に放送大学で「食と健康」の授業を受けたが、授業内容がとても良く、大変勉強になった。今学期も同じ先生方で、「食健康科学」の授業を受けることが出来てとても嬉しかった。

改善点

- 受講していて、どんな食べ方が良いのか、どのくらいの量が適切なのかなど、疑問に思うこともしばしばあった。オンラインでなく、質疑応答などの場が、もっと使いやすく活発になれば良いと思った。こんな程度の低い質問などしてはいけない気がして交流フォーラムなどへの書き込みは気が引ける。もっとオープンに交流できる場があれば、学びも興味も深めることができると思う。
- 免疫系統については、少し難しく、もっと詳しく教えていただきたい点もあった。
- 講義が細部に渡り、理解するのに苦労した。
- スライドだけでは、なかなか理解出来ない部分もあった。自分で学ぶ必要を感じた。
- 小テストの解説で2ヶ所ほど、厳密に言えば正解ではないのでは、と思われるものがあった。

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	4	内容・構成が良かった	2
興味・関心が持てた	4	ポイントがつかみやすかった	1
勉強になった	3	図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった	1
知識の整理に役立った	3		
新しい知識が身についた	3		
今後役立つ内容だった	3		
楽しかった	2		
学習意欲・知識欲がわいた	2		
全体として満足している	1		
視野が広がった	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		
内容・構成が良かった	1		
専門的な内容だった	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		主な改善点の提案:集約
意見	合計	
難しかった	3	●難しかった
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	●もっと詳しい説明・解説をしてほしい
内容の詰め込みすぎ	1	●内容の詰め込みすぎ
交流の場を用意してほしい	1	●交流の場を用意してほしい
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	1	●教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
		●設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある

設問解答	
意見	合計
設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	1

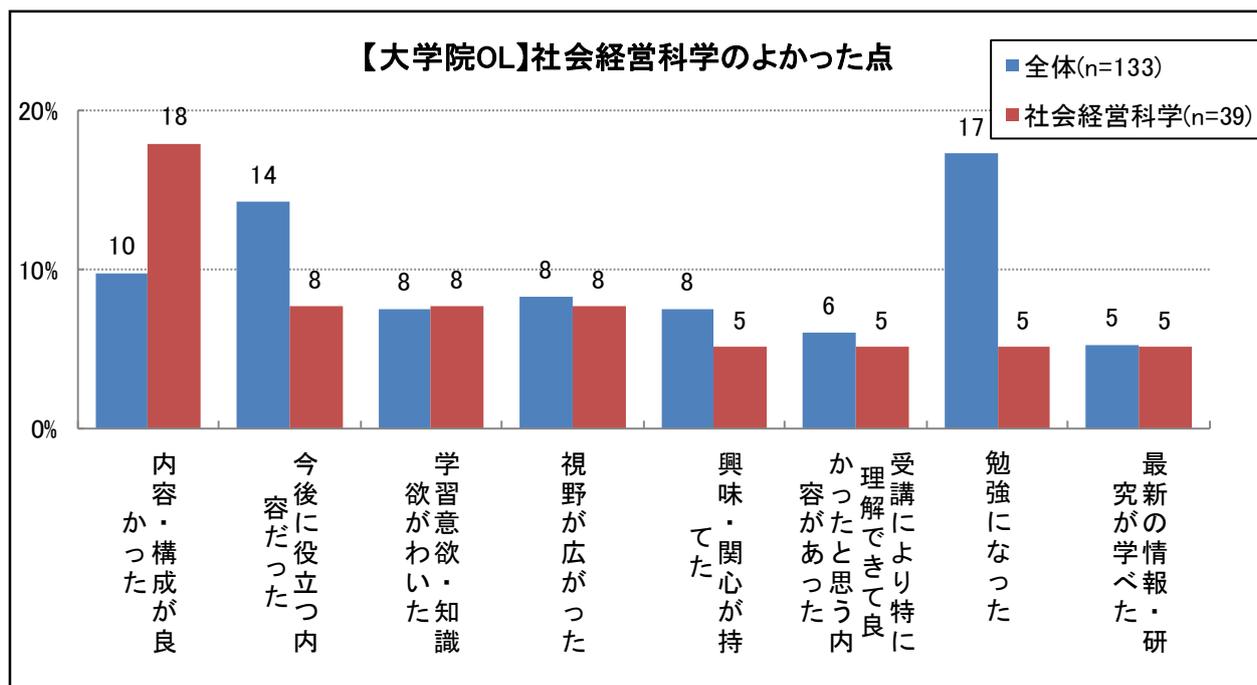
【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「内容・構成が良かった」が18%で最も高く、他に「今後に役立つ内容だった」などが、8%で続いていた。

「勉強になった」(5%)は、全体と比べると、大きく下回っていた。

図4-13 【大学院 オンライン】よかった点

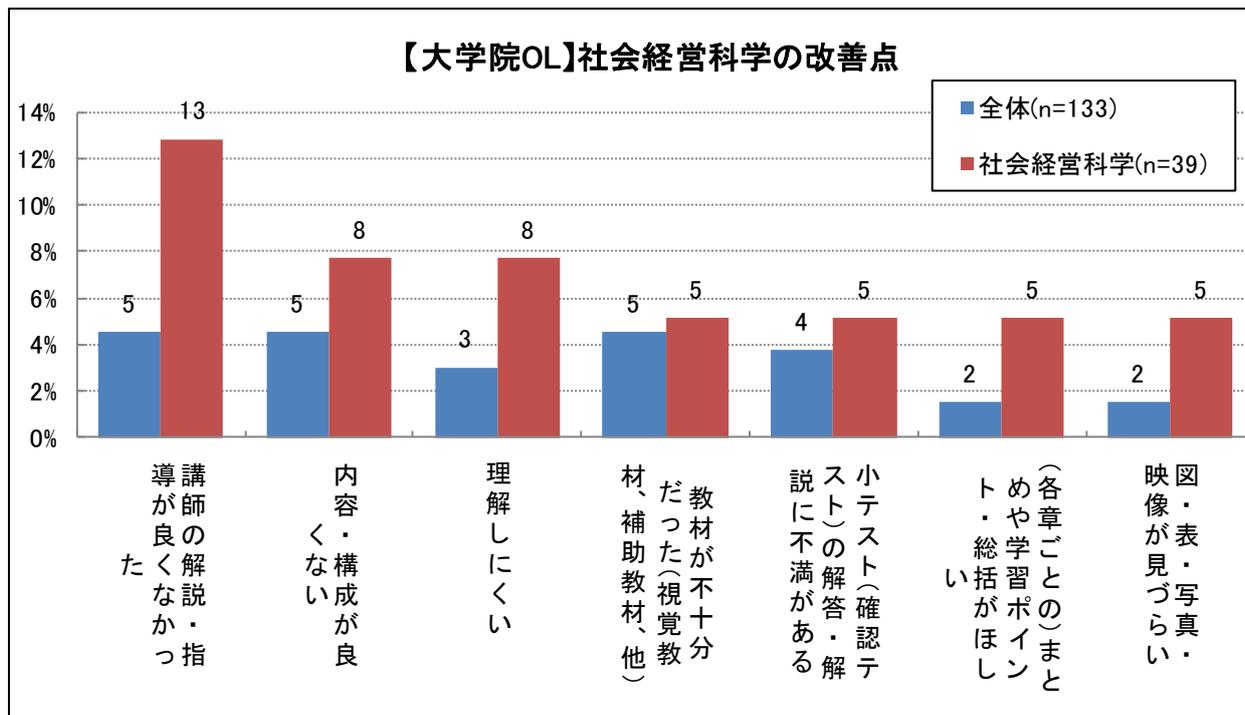


【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

改善点

「講師の解説・指導が良くなかった」が最も高く 13%で、全体を上回っていた。他に「内容・構成が良くない」「理解しにくい」が 8%で、上位に挙げられていた。

図 4 - 1 4 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 経済文明という広範で重層的な領域を対象とした科目を理解することは易しいことではない。また、文献講読の手法を学ぶというのはまったく別のジャンルである。本科目はこの二つを接続して両方を一緒に理解しようとする、ある意味でとても欲張りな科目だが、受講を重ねるうちに講師の意図するところに得心が行くようになった。
- 法と倫理、生命科学・情報科学・環境科学、知的財産などの異なる面から章立てがされており、複数の視点で捉えることが出来たので良かった。
- イノベーション戦略に係る法令や規制、問題点の存在を幅広く認知することができた。
- 著作権、知的財産権や研究倫理などについて、広く学ぶことができた。
- 学術研究から知財に展開するための課題をもっと勉強する必要性を痛感した。まず頭の中にイメージをつけるために、マンガ・イラスト付き入門書からやり直す必要性を感じた。
- 普段、法律に触れる機会がなく、法律関係に苦手意識を持っていたので、世の中の新しい課題について法律的に解説しているのが、いろいろ考える機会となって良かった。
- 新しい視点を得ることができた。受講内容を活かせるとよい、と考えている。
- 論文執筆の構成を考える際、レトリックを意識することの重要性に気づかされた点は良かったと思う。
- 法律の勉強から遠ざかっていたので、久しぶりの法学。法律用語について、独特な表現形式を学ぶことができたのは良かった。
- 最新の法令などの動向を概観することができた。
- 科学技術と法体系の関係が整理できた。

改善点

- 法文や計画の文言をそのままなぞって講義しており、理解しにくい。
- 講義における口頭による説明の文章が、活字を読む分には問題ないと思うが、聴講には難しいと思う程度に文の構造が複雑で、頭になかなか入ってこない。言い換えると、口頭説明の原稿が複雑な構造の文章である。
- 最近のイノベーション重視の科学技術政策の転換等に関する動き（法改正や推進体制等）についての内容を期待していたので残念。知財や AI など、個別の論点を取り上げるのであれば、それらに特化した講座を設け、より充実した内容とした方がよい。この内容であれば、科学技術政策概説とか、タイトルに工夫がほしい。
- カリキュラムについて、先生の知財制度論の授業内容との差異がよく分からなかった。知財制度論を踏まえた次のステップとして、もっと知財戦略の内容を強化しては如何だろうか。
- 生命科学・情報科学・環境科学における、類似点と相違点をまとめるような回があると理解が深まると思う。
- 法体系の説明時は、歴史的な経過なども含めて説明いただけると分かりやすいと思う。
- パワーポイントは分かりやすいのだが、本と比較して情報量が少ないため、練習問題を解く時や、再学習する際に不十分であった。
- 講義の説明やパワーポイントデータが分かりづらかった。ポイントが示されていない。活字だけの羅列のページも多かった。
- 練習問題及び小テストで、何の知識を得ることを求めているかの意図が不明であり、体系的な知識の習得にプラスとは言いがたかった。
- 学習を進めるうえで、参考となる基本図書の紹介が皆無だった。学習・研究のための書籍や論文を丁寧に紹介してほしい。

【オンライン大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
内容・構成が良かった	7	講師の解説が分かりやすかった	1
学習意欲・知識欲がわいた	3		
視野が広がった	3		
今後役に立つ内容だった	3		
勉強になった	2		
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	2		
興味・関心が持てた	2		
最新の情報・研究が学べた	2		
全体として満足している	1		
自分のペースで勉強できた	1		
知識の整理に役立った	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		

【オンライン大学院】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
内容・構成が良くない	3	講師の解説・指導が良くなかった	5
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2	理解しにくい	3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	2	図・表・写真・映像が見づらい	2
期待していた内容ではなかった	1	システム面の改善が必要	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	オンラインの特性が十分に生かされていない	1
内容が浅い	1	授業に興味・関心が持てなかった	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1	ポイントがつかみにくかった	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1	講師の声が聞き取りづらい	1
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1	講義ノートやテキストと内容が異なる・連動していない	1
講義内容と科目名に乖離がある	1		
科目の分類に疑問がある	1		
交流の場を用意してほしい	1		

設問解答		講義ノート・テキスト	
意見	合計	意見	合計
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	2	講義ノート・テキストを印刷するのは大変	1
練習問題はあまり学習に役立たなかった	1		
小テスト(確認テスト)はあまり学習に役立たなかった	1		
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	1		

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 内容・構成が良くない
- オンライン授業:理解しにくい

- (各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい
- 教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
- オンライン授業:図・表・写真・映像が見づらい
- 設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある

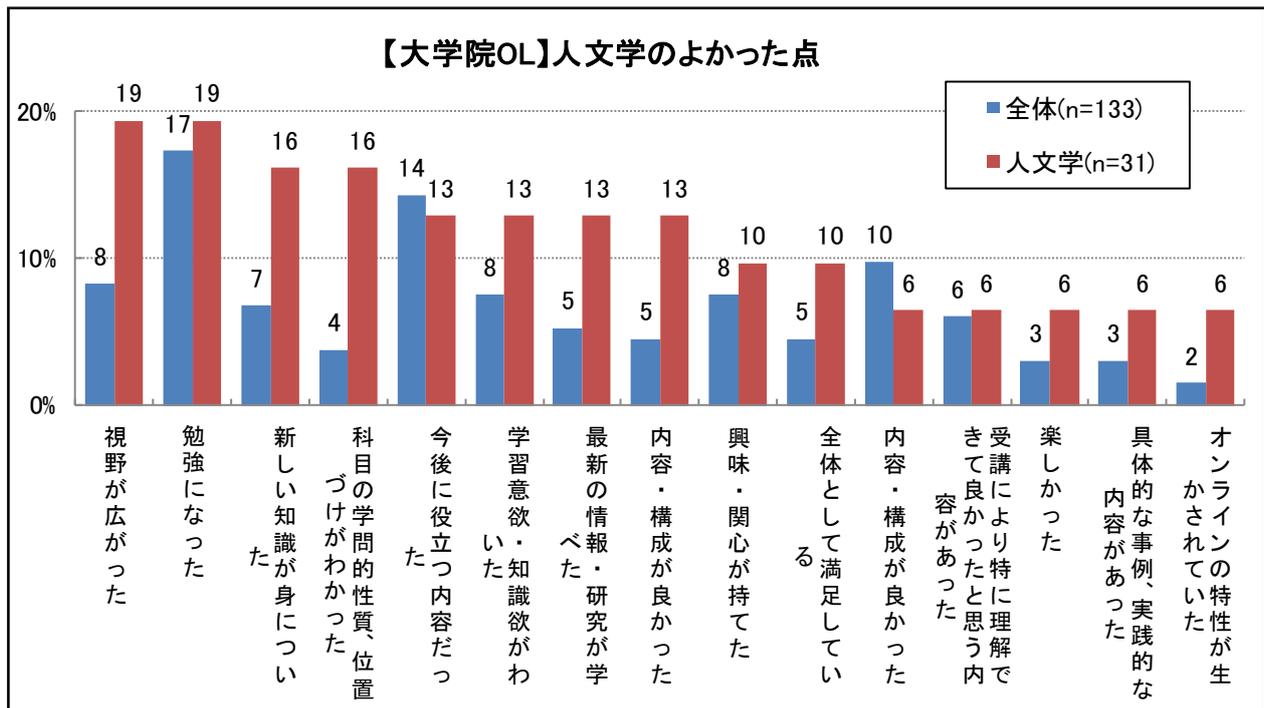
【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

よかった点

「視野が広がった」「勉強になった」が19%、「新しい知識が身についた」「科目の学問的性質、位置づけが分かった」が16%で上位に挙げられた。

他にも「今後に役立つ内容だった」「学習意欲・知識欲がわいた」など、10%以上の項目が数多く、内容も多岐にわたっていた

図4-15 【大学院 オンライン】よかった点

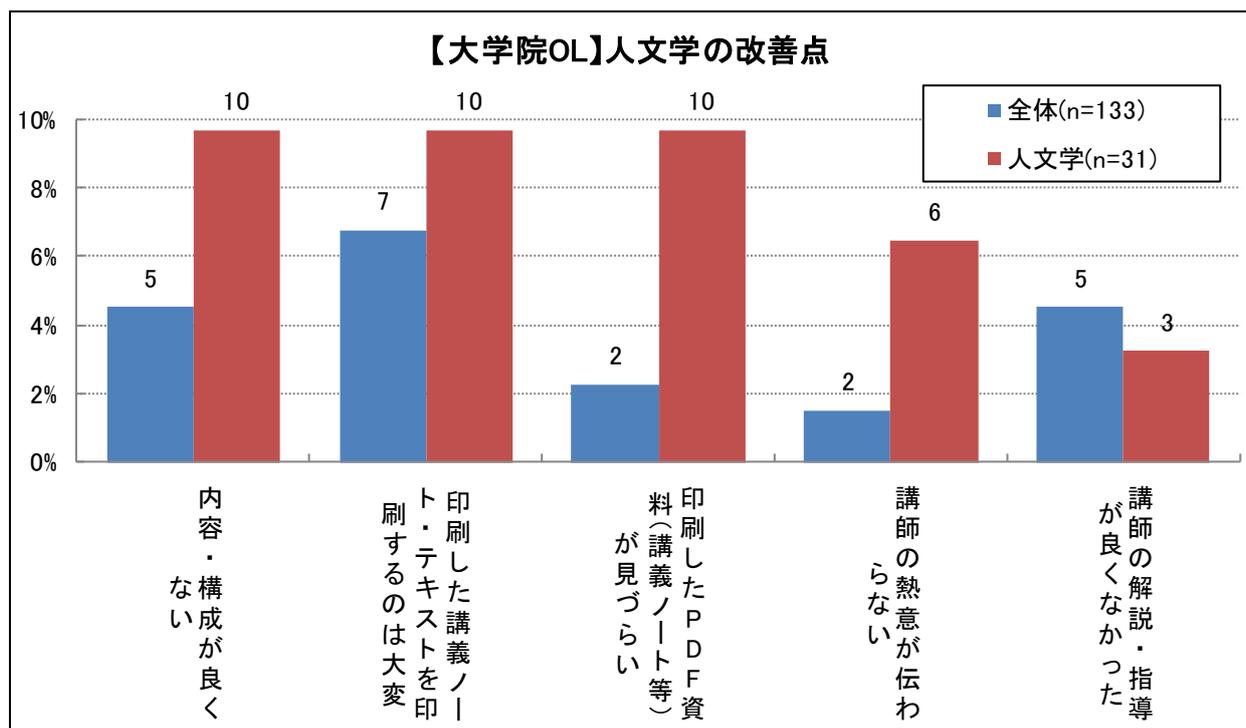


【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」「印刷した講義ノート・テキストを印刷するのは大変」「印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい」が10%で挙げられ、他に「講師の熱意が伝わらない」が6%で続いていた。

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

よかった点

- 文化人類学という学問は、今まで触れたことのない学問だったので、すべてが新鮮で大変勉強になった。今後の小生の研究を進めていく上でも大変参考になる学問だった。
- 様々な考え方と事例が紹介され、絶望的に見える人類の未来にも僅かな可能性があることを学べた。
- 人新世時代の文化人類学という新しい視点を得ることができ、非常に刺激的だった。
- ずっと自然科学分野ばかりを勉強していたので、社会科学はある意味、新鮮な驚きの連続だった。学術用語の使い方や定義など、自然科学分野の勝手と違う点があり、ウィキを活用しながら聴講を進めていた。「文化人類学」や「人新生」など、初めて知った。生物学を考察するにあたって、これらの学問の概念を取り込むことで新しい視点が生まれ、さらに研究意義を明確にすることが出来そうだった。
- 人新生という言葉を知った。地球温暖化がかなり深刻な状況にきていることを知った。
- 今から40数年前の大学時代に文化人類学の講義を受けたことがあるが、その時の講義内容とは全く異なっていた。今回この科目を受講して、人新世という時代を知り、文化人類学の重要性について再認識させられた。
- 最先端の議論や仮説を見聞きすることができ、独学では得られない経験になった。
- 授業の内容が非常に良かった。文化人類学という分野に留まらず、文系、理系、双方にとって刺激的な講義だったと思う。
- やりとりの中で、研究結果や論文を読んだだけでは分からないような小さな疑問など、細かい部分も知ることができた。
- 学部科目の「人新生」時代の文化人類学の知識とうまくつながり、人類の抱えている問題の本質と、文化人類学がどのようにそこにかかわるかがよく理解できた。
- 内容にも工夫が施され、オンライン授業の利点を十分に活用されたものだった。
- 講師陣が多彩で、文化人類学の領域の広がりを実感できた。

改善点

- テキストがラジオの講義などとは違い、ないため、復習ができない。次年度以降、テキストを見返すなどできないことが残念。
- 視聴メモをプリントアウトした字の大きさが小さくて、拡大して使用した。本として、記録物として残りにくい。
- 各々の専門家の方たちの研究などがアブストラクティックに終始したので、分かったような気になるけれど、理解できていない感が否めない。出来れば、イントロダクション、方法と手法などまで掘り下げて欲しかった。
- 授業内容が、思っていた内容とややずれがあった。「文化人類学」というと、異文化、中でも経済的には”未開な”世界の記述、という典型的なものを思い描いていたので。
- 人類の為になる事柄、行動をしている人々を、色々な分野からピックアップしてはどうだろう。
- 範囲が広いので、分野を分割してもよいかなと感じた。
- 可能ならば、講師のフォーラムなどの参加があることで、この科目の意義を、受講生が自分の研究として確立できると思う。
- 手元に残せるPDF資料の中で、著作権の関係で空白となっているページが多いものもあり、もう少し資料として、掲載可能なコンテンツや代替情報を選択していただけると、後で読んだときに内容がより分かって良いのではと感じた。
- 放送大学の学生は一般学生とは異なり、多くが勤めを持つ社会人であることから、このような長時間のオンライン授業は、受講に困難が生じると考えられる。
- 各設問の難易度はもう少し高めでも良かったのではないかな。その上で、解答に関する解説をより充実させてもらえればと感じた。

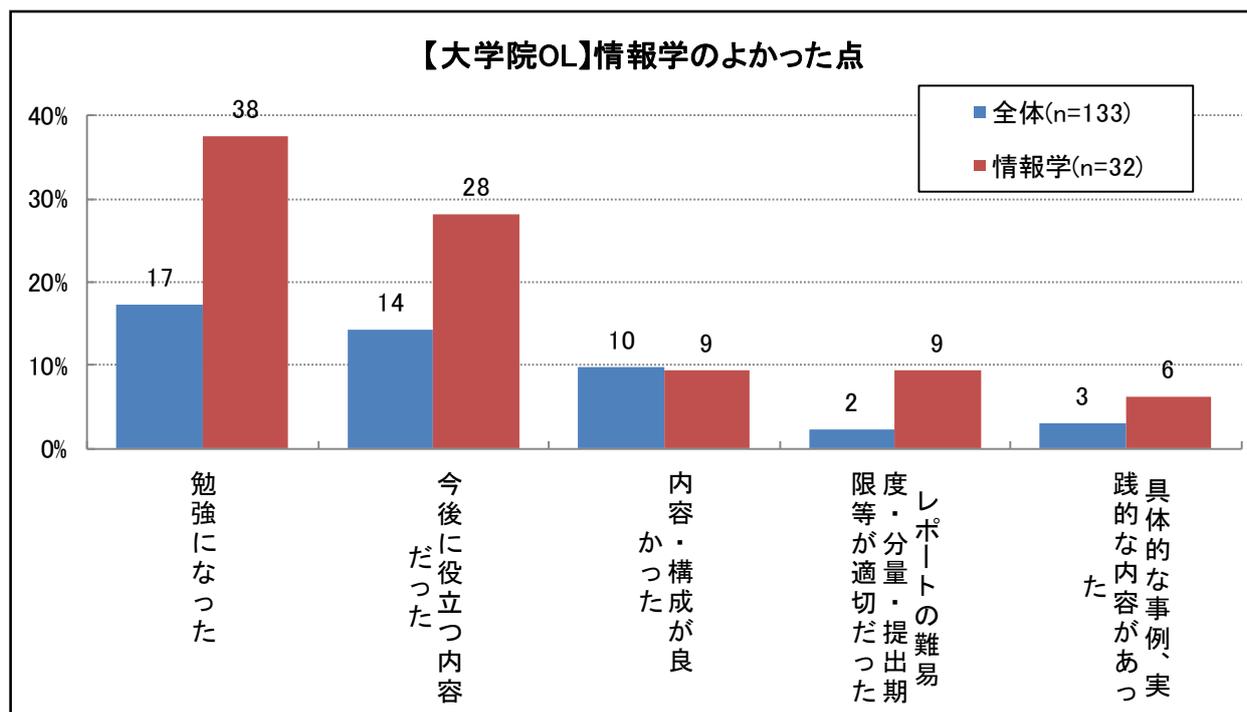
【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

よかった点

「勉強になった」38%と最も高く、次いで「今後に役立つ内容だった」が28%で続き、両項目とも全体との差は大きかった。

他に「内容・構成が良かった」「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切だった」が、9%挙げられていた。

図4-17 【大学院 オンライン】よかった点



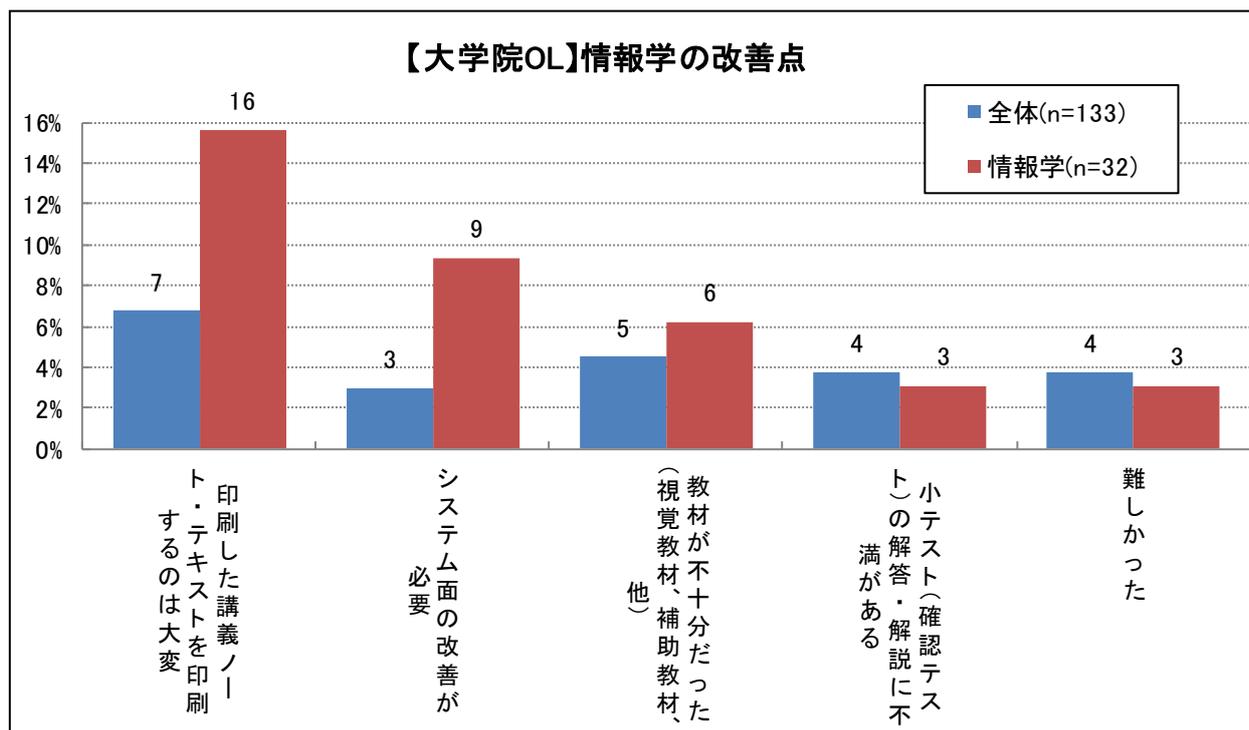
【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

改善点

「印刷した講義ノート・テキストを印刷するのは大変」が16%で最も高く、次いで「システム面の改善が必要」(9%)「教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)」(6%)が挙げられた。

他に「小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある」などが3%で続いていた。

図4-18 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

よかった点

- 研究の方法論について理解できた。研究の具体的な進め方についても触れることができた。
- 研究や ICT 活用についての知識が深まった。
- 修士論文作成の上で、論文の構成について説明があり、ICT の活用方法なども示されていたので、大変参考になった。
- 修士論文執筆のプロセスや資料集めの方法など、知りたい内容を得ることができた。
- 研究に関して、そのプロセスを再学習することで、今後の研究や学生研究指導に生かせる授業だった。
- 現在の職務に直結する内容で、大変役立つ講義だった。
- テーマとしている内容にとどまらず、修士課程において何をなすべきか、についてもご教示頂けたのが大変に良かった。
- 大学院に入って良かったと感じる科目だった。特に砂時計の比喻や、「巨人の肩の上に立つ」という言葉がとても新鮮だった。
- 最近のトレンドを、具体的に講義をしてくださる試聴内容で興味深く学習できた。

改善点

- テキストが欲しい。そのため、放送授業でも良かったのではと思う。何度も見返したくなる内容であるため、講義ノートに自分でメモするだけでは不足していた。
- 長らく印刷教材で勉強してきた身としては、印刷教材が必要と感じた。特に、印刷教材での勉強は場所を選ばないからだ。忙しい現役サラリーマンにとっては、電車の中や昼休みなど、ちょっとした隙間時間の活用は必須だ。
- 印刷環境が不十分なので、希望者にはテキスト購入ができるようにしてほしい。
- スライド以外の情報量が多く、あとで振り返る際に不便のため、印刷教材に近い体裁のものがあれば復習しやすいと感じた。
- 字幕をスクロールしても、最後まで読めないことがあった。
- 受講時間の関係から途中でやむを得ず中断し、そのスライドから次の時に始めることがあったのだが、講義受講完了のチェックマークがつかなくて難儀した（この科目に限らず、オンライン授業のシステム上の問題かもしれない）。
- オンライン授業映像の中から、自分が確認したい箇所を見つけることが困難。
- 修士2年目で受講したが、1年目で受講すべきだった。科目を選ぶ時に、このことをもう少し明記してもらえると良かった。
- スライドと音声は単調で集中力が続かず、各回を数回に分けて視聴した。形式にとらわれず、最初から分かっていた方が理解しやすいと思った。
- まだ入学したばかりで研究内容もぐらぐらしていた時だったので、中間レポートの課題は、なかなか的を射たものに仕上げるができなかった。修士課程2年生と1年生ではレポートの厚みが違い、評価も違うのではないかと思った。
- 最終レポートの提出が、1週間前にはボックスに入れたのだが、送信ボタンを押さなかったのか送信されておらず、教室に入り評価確認をした時にはすでに期限が切れていた。せっかく時間をかけたレポートなのに残念でしかたない。
- パワーポイントへ、口頭でお話しされた内容をもう少し記述頂きたい。

【オンライン大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		設問解答	
意見	合計	意見	合計
勉強になった	12	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切だった	3
今後に役立つ内容だった	9		
内容・構成が良かった	3		
具体的な事例、実践的な内容があった	2		
全体として満足している	1		
興味・関心が持てた	1		
学習意欲・知識欲がわいた	1		
理解しやすかった	1		
知識の整理に役立った	1		
新しい知識が身についた	1		
視野が広がった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		

【オンライン大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	2	システム面の改善が必要	3
難しかった	1	講義の分割の仕方が良くなかった	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	講師の声が聞き取りづらい	1
内容が浅い	1		
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		
授業科目案内は内容が不十分だった	1		
交流の場を用意してほしい	1		

講義ノート・テキスト	
意見	合計
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	5

設問解答	
意見	合計
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	1
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1
解答の送信方法がわかりにくい	1

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト: 講義ノート・テキストを印刷するのは大変
- オンライン授業: システム面の改善が必要
- 教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
- 難しかった
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容が浅い
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい